

科目名					授業の種類	授業担当者
保育実習指導					演習	下平正恵
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修	
2	1	30	15	前期	幼免：選択	保育士：必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。 2 実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培う。 3 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。 4 保育士の専門性と職業倫理について理解する。 5 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。 						
<p>[授業全体の内容と概要]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保育実習による総合的な学び <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解 (2) 子どもの保育と保護者支援 2 保育実践力の育成 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもの状態に応じた適切なかわり (2) 保育の表現技術を生かした保育実践 3 計画と観察、記録、自己評価 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育の全体計画に基づく具体的な計画と実録 (2) 保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善 4 保育士の専門性と職業倫理 5 事後指導における実習の総括と評価 <ol style="list-style-type: none"> (1) 実習の総括と自己評価 (2) 課題の明確化 						
<p>[受講上の注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な予習を行って授業にのぞみ、必ず復習を行う。 						
<p>[使用テキスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針解説書(厚生労働省) ・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領<原本> ・保育のマナーと言葉・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 ・保育者になる人のための実習ガイドブックA to Z 					<p>[評価基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育実習関連の課題・提出物(80%) ・授業への意欲・態度(20%) 	
<p>[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]</p>						
回	項目		授業内容			
1	保育実習 I [後半]・II・IIIについて		保育実習 I [後半]・II・IIIの意義と目的の理解			
2	保育と表現技術		保育現場で有効な手遊び、体操、絵本を知る			
3	職員の資質向上に関する基本的事項		保育士の専門性と職業倫理、保育士の資質			
4	入所している子どもの保護者支援		子どもの保育と保護者支援のあり方			
5	保育の内容の自己評価		保育の観察・記録・自己評価に基づく保育の改善			
6	実習マナー		実習に臨む態度を学ぶ			
7	レクリエーション		子どもや利用者とともに楽しめるレクリエーションを探り、実践する			
8	文章の書き方		5w1hを学び、相手に伝わりやすい書き方を学ぶ			
9	保育者のICT活用		PowerPointを用いて行事の説明をつくり、理解を深めるとともにパソコンの扱い方を学ぶ			
10	直前指導①		指導案立案の意義、書き方を学ぶ			
11	直前指導②		指導案を見合い、その指導案を基に活動する			
12	直前指導③		実習日誌記入の意義、書き方を学ぶ			
13	直前指導④		実習日誌の要点を探る			
14	保育実習 I [後半]・II・IIIのまとめ		実習を振り返り、意見交換 事後の提出物(実習ノート、報告書、感想文等)を整理			
15	総合まとめ		実習報告会の実施			
実務教員としての経歴		保育園にて5年勤務(そのうちの1年間は副主任として勤務)				
実務経験と授業の関連		保育士としての経験を活かし、保育実習についての知識と技術を養う				